

接着剤の使用法

株式会社ロマック

TEL : 045-315-3416

Mail : info@romac.co.jp

※平日 9:00 ~ 17:30

■対象商品 [エポキシ系2液性接着剤 TボンドSS]

種類 / 写真	仕様	施工前にご確認下さい
1kg チューブセット 必要量だけ 使えるタイプ 	主 剤 / 500g 硬化剤 / 500g	<ul style="list-style-type: none"> ・5℃以下では接着剤が硬化しませんので施工は避けてください。 ・雨天や降雪時、ならびに樹脂硬化時間内に降雨が予想される場合は、施工不良の原因となりますので施工しないでください。 ・新設のコンクリートに施工する場合は、コンクリート打設後2週間以上の養生が必要です。 ・ロードポストシリーズを区画線上に設置する場合は区画線を削って施工してください。
1kg 缶 使い切り タイプ  ※ 開封後はすべて使い切ってください。	主 剤 / 500g 硬化剤 / 500g	
3kg 缶 使い切り タイプ  ※ 開封後はすべて使い切ってください。	主 剤 / 1500g 硬化剤 / 1500g	

■接着剤可使時間・硬化時間目安表

温度(℃)	5(℃)	10(℃)	20(℃)	30(℃)
可使時間	70分	60分	40分	25分
硬化時間	20時間	14時間	7時間	4時間

- ・15℃以下では樹脂の粘度が上がり、主剤・硬化剤の混合が困難になります。樹脂をあらかじめ暖め、粘度を下げてから攪拌すると効果的です。
- ・30℃を超える高温条件下では接着剤の温度が上がり硬化までの時間が極端に短くなる場合があります。
- ・左記表は目安です。施工状況・環境によって硬化時間が異なりますので、必ず実際の硬化状況をご確認ください。

■接着剤使用量 (ロードポストシリーズ1本あたり) ※接着剤の量が少ない場合、剥離する恐れがあります

タイプA 固定式 (貼付式接着型)	・・・330g (排水性舗装 490g)
タイプB, タイプE 固定式 (貼付式アンカー併用型)	・・・250g (排水性舗装 350g)
タイプC 可変式 (1本脚), タイプD 可変式 (小径台座)	・・・200g (排水性舗装 240g)

■用意する物

- 接着剤 (主剤・硬化剤)
- 計量カップ
- へら
- 攪拌用容器

へらや計量カップはご準備ください。

缶タイプは、缶をそのまま攪拌容器としてご利用いただけます。

チューブタイプは、パテ板などをを用い攪拌してください。

■施工方法



缶タイプ：
缶の蓋をあけ、硬化剤を全て流し入れます。

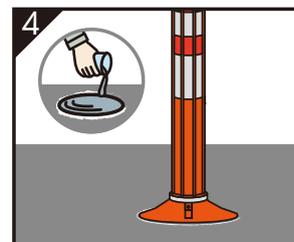
チューブタイプ：
攪拌用容器に、主剤と硬化剤を1:1の割合で流し入れます。



主剤と硬化剤を十分に攪拌します。
※主剤、硬化剤を混ぜ合わせますと硬化を始めますので、上記表「可使時間」以内に使い切ってください。



計量カップなどで、1本あたりの接着剤量を計量します。



設置個所に流し込んで、本体を設置し、硬化するまで養生します。

※上記表の「硬化時間」は目安です。硬化までの時間は、天気や季節など条件に応じ前後します。

※勾配のある場所では、硬化するまでガムテープなどで仮止めを行ってください。